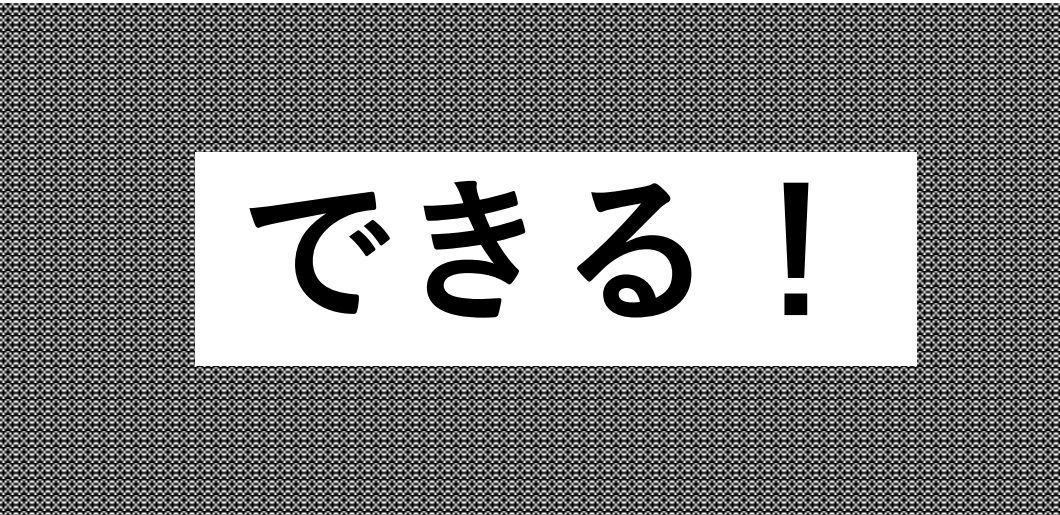


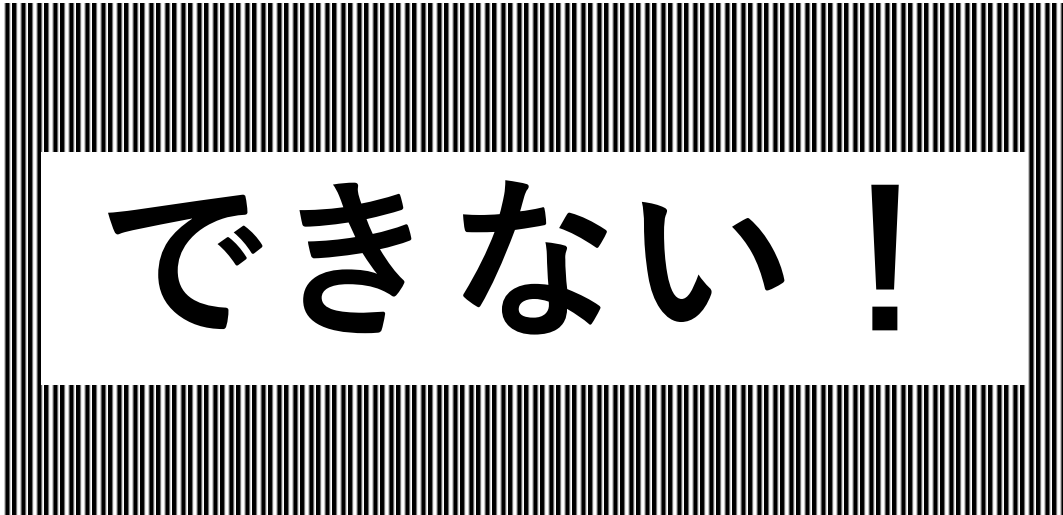
地域と育む防災力

京都大学防災研究所 准教授
中野元太

地域防災活動を イメージできますか？



できる！



できない！

あなたの地域では自治会、健康づくり、
見守り、子育て世代交流などの活動は
行われていますか？

ある！

ない！

地域防災活動は

〇〇×防災

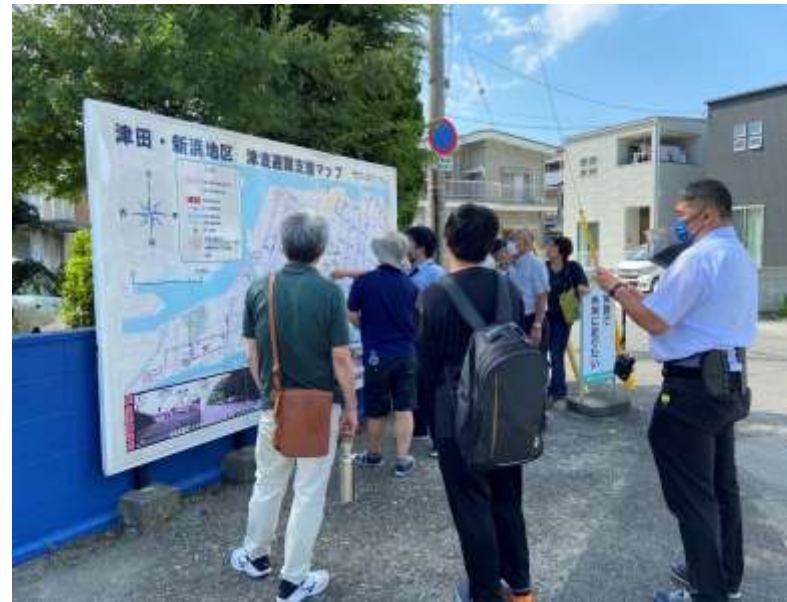
たくさん生み出すこと

学校 × 防災

徳島県新浜地区自主防災会連絡協議会 青年部 津田新浜防災学習倶楽部

- ・ 徳島県津田中学校の総合学習がきっかけ（2005年）
- ・ 地域の防災意識調査や津波浸水高の表示
- ・ 家具転倒防災器具設置の呼びかけ等
- ・ 事前復興計画づくり
- ・ **現在も大学生を主要メンバーとして活動！**

中学校でのクラブ活動
が維持できなくなり、
自主防災会の青年部と
して発足



学校 × 防災

(その2)



高知県四万十町興津地区

<http://bousai-koushien.net/1864-2/>

「ぐるみの会」（「ぐるみ」とは「全員で」という意味）

興津地区自主防災会
（地域住民）

興津小・中学校

四万十町役場
（行政）

京都大学
（専門家）

毎年行われる防災マップを作成



- 興津小学校では、毎年5年生と6年生が防災マップを作成
- 生徒らが、地域住民の目線（お年寄り、小さな子ども）で考えて、必要な津波避難対策について考える。
- 学校の生徒や地域住民の参加で作成され、必要な防災対策、危険個所などを行政とも共有





作成年	テーマ
2003年	初めて防災マップ作成
2005年	津波避難場所をチェックする
2009年	地図上に津波浸水深を書き込む
2010年	土砂災害の危険個所を見つける
2011年	避難に必要な時間を調べる
2015年	避難ルート上の危険個所を調べる (昼・夜バージョン)
2018年	防災マップを防災すごろくゲームにつくりかえる

防災マップ作成のさまざまな成果



避難ルート上にある橋の耐震化



親の避難訓練参加率向上



避難ルート上に蓄光マーカ
を設置
→夜に光ります



保育所・福祉施設の高台移転



避難標識の充実
津波の到達時間を表示

子ども × 国際 × 防災

20代～30代の子育て世代

NPO法人が運営する国際子ども食堂

- 2020年開始。これまでに194回以上、16,494食を提供。
- コロナ禍で孤立する外国人と子どもたちをつなぐ多文化共生の場づくり
- 様々な国の外国人が母国の料理を日本人ボランティアと作り、子どもたちと一緒に食べる。
- 食事に関する習慣や禁忌、お祈り等の習慣に触れる。

**毎回、保護者、子ども
合わせて100名**



- ボランティアが毎回100食を調理（もはや炊き出し訓練）
- 地域内のつながり強化
- 避難・避難所での外国人との共生
- 防災をテーマにしたイベントも。

【第1回 令和4年5月15日】



講義：松山市の災害と対応
WS：段ボールベッド、防災食を食べる

【第2回 令和4年6月12日】



講義：災害時の食事とトイレ
ロールプレイング：避難所で必要な配慮を考える
WS：みんなで炊き出しをつくる

【第3回 令和4年7月10日】



講義：イスラム教を伝える & 理解する (ムスリム)
WS：避難所リフォーム計画！

【第5回 令和4年11月12日】



共有

【第4回 令和4年8月16日】



WS：避難所での多文化共生ブックレットを作成しよう

第1回 令和4年5月15日(日)「災害とは、防災とは?」

- ①特別講義「災害・防災の基礎基本」(京都大学防災研究所 中野元太先生)
- ②特別講義「松山市で発生される災害とその対応について」(松山市防災・危機管理課)
- ③ワークショップ:段ボールベッド・段ボールパーティションの組み立て
- ④ワークショップ:防災食を食べよう

Session 1: "What is Disaster? What is Disaster Risk Reduction?"
May 15 (Sun), 2022

1. Lecture: "Basics of disaster risk reduction" by Dr. Genta Nakano
2. Lecture: "Disasters risks in Matsuyama City and how to cope with them" by Disaster Prevention and Crisis Management Division, Matsuyama City
3. Workshop: Let's make cardboard beds together!
4. Workshop: Let's eat emergency food!



日本での被災 どう対応

外国人文化交流プログラム開始

松山市外国人文化交流プログラムが、5月15日(日)にスタートしました。このプログラムは、外国人の皆さんが、日本での被災に備えるための知識やスキルを身につけることを目的としています。

岡山 避難所設置や食事体験

岡山県では、5月15日(日)に、避難所設置や食事体験を行いました。この体験は、外国人の皆さんが、日本での被災に備えるための知識やスキルを身につけることを目的としています。

Ihsani / イサニ



- ・インドネシア出身
- ・留学生
- ・イスラム教徒
- ・From Indonesia
- ・Foreign student
- ・Muslim

・インドネシア語○、英語○、日本語△
・Indonesian 🗣️、English 🗣️、Japanese 🗣️



本来ハラル食品を食べるべきですが、
このような緊急事態には、
魚の加工品を食べます。

dalam kondisi darurat ini, jika memungkinkan saya harus makan makanan yang halal, akan tetapi tidak memungkinkan saya makan makanan olahan dari ikan.

I should eat halal food,
but in such an emergency,
I eat processed fish products.

Kenza / ケンザ



- ・アルジェリア出身
- ・留学生
- ・イスラム教徒
- ・From Algeria
- ・Foreign student
- ・Muslim

・アマジグ語○、フランス語○、
英語○、日本語×
・Amazigh 🗣️、French 🗣️、
English 🗣️、Japanese 🗣️

Ihsani / イサニ



Unable to bathe with others,
even of the same sex.

入浴は宗教上の理由で
同性であっても他人と一緒に
入浴することができない。

Impossibilité de se
baigner avec d'autres
personnes, même du
même sexe.

日本語はまだ勉強中なので、
英語のガイドラインがあると

necessarily correspond to multiple languages. Therefore, we interviewed foreigners about what kind of information they would like in the event of a disaster.

YUNJAE / ユンジェ



- ・韓国出身
- ・留学生
- ・キリスト教徒
- ・From Korea
- ・Foreign student
- ・Christian

・韓国語○、日本語○、英語○
・Korean 🗣️、Japanese 🗣️、English 🗣️

・災害の下でどうやって国に帰れるのが
・本国から資金援助を受ける場合、現金
(日本円)に換金できるか。

재난 상황에서 어떻게 국가로 돌아갈 수 있을지
본국으로부터 자금 지원을 받을 경우
한국 원화로 환산할 수 있는지.

I can't even imagine how I can get
back to my country.
If I receive financial assistance from
my home country, I am worried
about whether it can be converted
into cash (Japanese yen).

Preston / プレストン



- ・アメリカ出身
- ・就労
- ・無宗教
- ・From USA
- ・Work
- ・Non-religious

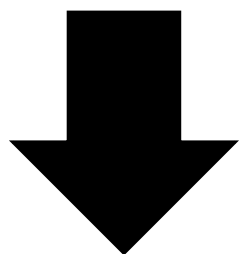
・英語○、日本語○
・English 🗣️、Japanese 🗣️



日本の食べ物は、
パッケージだけで中身を
予測するのが難しい。

It is difficult to predict the
contents of Japanese food just
by looking at the package.

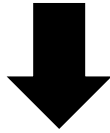
福祉 × 防災



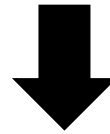
健康 × 防災

日本の地域防災は「防災」×「福祉」が基本モデル

- 避難行動要支援者名簿の作成の義務化（2013年）
- 個別避難計画の作成の努力義務化（2021年）



災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者などを名簿化
行政が避難を支援するケースもあれば、地域内の隣近所等で助け合うケースも
ある。「**共助を前提とした福祉アプローチ**」



共助が難しくなっている

内閣府2018年度調査

80歳以上の44.4%、65歳以上の22.2%

「階段を使い、1つ上の階にのぼる」ことが「難しいと感じる」。



西日本豪雨（2018年7月）

岡山県倉敷市真備町

- 51人が犠牲になった
- 41人は住宅の1階で発見
- （2階建ての1階というケースも多数）

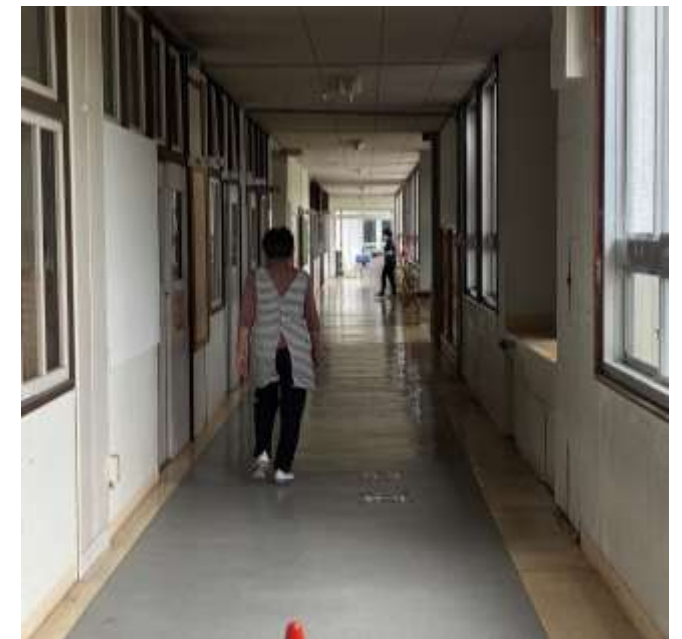
共助（地域防災）の限界が目前に

新しいパラダイムとしての「防災」×「健康」



避難行動要支援者を増やさない取り組み

新しいパラダイムとしての「防災」×「健康」



避難可能範囲の確認
歩行力から避難可能範囲を算出
自力で避難できるかを確認
歩行力の目標を設定できる！

自治体でも避難力をカテゴリー化

- A 自力で避難できる
- B 避難場所の下までは来れる
- C 自宅の前までは出られる
- D 自宅から出られない

児童が作成した防災ウォーキングマップの活用

あなたの〇〇×防災を考えてみよう！